

資料 4

研修カリキュラム（品質管理分野改善版）

訓練技法開発研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数	
	品質管理を導入した 訓練技法開発		20	2	
開催会場	職業能力開発総合大学校				
研修のねらい 及び到達目標	直接生産分野」に関連する品質管理の基本や統計的品質管理解析法を習得し、「統計リテラシー（「間接支援分野）」の要素や考え方を「既存コース」に取り入れ、訓練の工夫や改善を図る				
研修対象者 と 前提条件	対象者：業務経験5年程度の指導員 前提条件：①専門性による訓練を行っていること ②表計算ソフトの操作に慣れていること				
	項 目		学科 H	実技 H	
研 修 内 容	1. はじめに				
	1.1 本研修のねらい		0.1		
	1.2 スケジュールと到達目標		0.1		
	2. カン・コツの客観的表現				
	2.1 データの取り方（サンプリングの考え方）		0.8		
	2.2 データのまとめ方（基本的な統計量と読み方）		1.0		
	2.3 正確さ・安定性の表し方（工程能力指数の見方）		1.0		
	3. 専門技術の客観的判断				
	3.1 分散分析		1.0		
	3.2 1つの条件の利き具合（一元配置）		1.0		
	3.3 複数の条件の利き具合（繰り返しのある二元配置法）		1.0		
	4. 事例演習				
	4.1 溶接ビードの外観評価			0.5	
	4.2 測定器の選定			0.5	
	4.3 機械加工における技能の定量評価			0.5	
	5. 組み込み事例立案				
	5.1 班分けと適用テーマ立案			0.5	
	5.2 グループ活動			2.0	
	6. まとめ				
	6.1 成果発表と質疑応答			2.0	
	6.2 まとめ				
				計 6.0	計 6.0
	担当教員 (所属工学科)	ビジネスマネジメントユニット			
	使用する機器 及び教材等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、自作テキスト			

訓練技法開発研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
	品質管理を導入した 訓練技法開発（導入編）		20	2
開催会場	職業能力開発総合大学校			
研修のねらい 及び到達目標	直接生産分野」に関連する品質管理の基本や統計的品質管理解析法を習得し、「統計リテラシー（「間接支援分野）」の要素や考え方を「既存コース」に取り入れ、訓練の工夫や改善を図る			
研修対象者 と 前提条件	対象者：業務経験5年程度の指導員 前提条件：①専門性による訓練を行っていること ②表計算ソフトの操作に慣れていること			
研 修 内 容	項 目	学 科 H	実 技 H	
	1. はじめに			
	1.1 本研修のねらい	0.1		
	1.2 スケジュールと到達目標	0.1		
	2. カン・コツの客観的表現			
	2.1 データの取り方（サンプリングの考え方）	0.8		
	2.2 データのまとめ方（基本的な統計量と読み方）	1.0		
	2.3 正確さ・安定性の表し方（工程能力指数の見方）	1.0		
	3. 専門技術の客観的判断			
	3.1 検定と推定の考え方	1.0		
3.2 計量値に関する検定	1.0			
3.3 計量値に関する推定	1.0			
4. 事例演習				
4.1 マイクロメータを用いた長さ測定		0.5		
4.2 超音波センサを用いた距離測定		0.5		
4.3 シュミットハンマーを用いたコンクリート強度測定		0.5		
5. 組み込み事例立案				
5.1 班分けと適用テーマ立案		0.5		
5.2 グループ活動		2.0		
6. まとめ				
6.1 成果発表と質疑応答		2.0		
6.2 まとめ				
		計 6.0	計 6.0	
担当教員 (所属工学科)	ビジネスマネジメントユニット			
使用する機器 及び教材等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、自作テキスト			

